



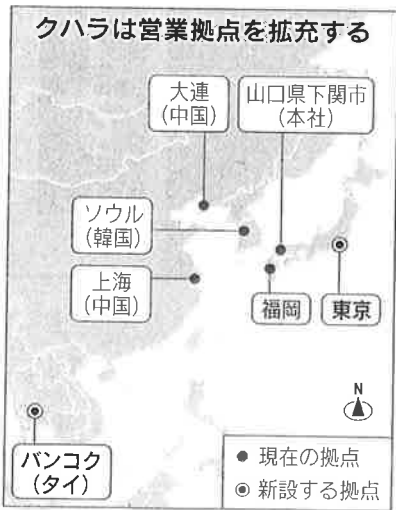
クハラはペット用の水槽やペットフードを扱う

ペット用品のクハラ

ペット用品の製造販売を手掛けるクハラ(山口県下関市)は今年中に、東京とタイに営業拠点を新設する。ペット向け水槽やペットフードなどを扱っており、2020年の五輪開催などで今後、施設整備などが期待される東京や市場拡大が見込めるタイを開拓する。18年に福岡証券取引所への上場も目指す。上場で調達する資金でさらに事業展開を加速させる。

東京とタイに営業拠点

18年福証上場へ市場開拓



同社は福岡県八女市と中国の大連・上海、韓国のソウルに営業拠点をもち、国内外で製造委託した商品などを販売している。国内は西日本が主要販売エリアだが、年内に東京都内に物流機能を備えた営業所を開設する。営業担当が1人常駐し、ペットショップやホームセンターに独自の木目調の

の枠の水槽などを供給する。販売が軌道に乗れば増員する。海外は中国、韓国などで製品を販売しており、新たにタイを開拓する。現在は政情不安が続いているが、中長期的にはペット関連の市場は拡大するとみて、年内にバンコクに現地法人を設立す

タイを拠点にシンガポールなど東南アジアに商品を販売する。所得の増加などにより、タイでは日本製ペットフードなどの需要が見込めるとしている。事業拡大や上場に向けこのほど2850万円の増資を実施、資本金が9950万円になった。山口銀行などが設立した「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」が株式を取得した。

クハラは12年12月期の売上高は3億7000万円。東京やアジアでの販売拡大などで5年後には20億円に増やす。久原木尚社長は「将来はインドなどにも売り込みたい」と話している。